ロンプルーフ防水事業協同組合 北海道支部

http://www.lonproof.or.jp/

㈱アクアグレース	（代表：早坂　智志）	〒062−0031	札幌市豊平区西岡1条9−1−25	TEL 011−855−2621
コニシ工営㈱	（代表：村上惠一郎）	〒063−0836	札幌市西区発寒16条4−1−30	TEL 011−777−3001
中田工業㈱	（代表：中田　圭介）	〒066−0074	千歳市緑町1−3−27	TEL 0123−23−3960
㈱濱建	（代表：濱野　充史）	〒060−0033	札幌市中央区北3条東5−5	TEL 011−261−5676
フクタカ工業㈱	（代表：小仲　秀俊）	〒062−0032	札幌市豊平区西岡2条1−1−46	TEL 011−856−4622
三浦工業㈱	（代表：及川　聖広）	〒080−0028	帯広市西18条南1−2−24	TEL 0155−33−8655
㈱ラシット	（代表：吉野　宏明）	〒007−0806	札幌市東区東苗穂6条2−13−10	TEL 011−781−3908

事務局：ロンシール工業㈱ 札幌営業所　〒060−0042 札幌市中央区大通西12−4−69　TEL 011−271−0411
あいおいニッセイ同和損保札幌大通ビル6階　FAX 011−271−0422

ロンシール工業株式会社　https://www.lonseal.co.jp/
〒130−8570 東京都墨田区緑4−15−3

屋根専用改修工法

防水&補強&断熱で工場屋根を再生

リ・ルーフシステム

ダイフレックス防水工事業協同組合北海道支部組合員

㈱アイ・ディー・エフ	☎0166−57−1831	㈱ジャクアシステム	☎011−688−6815
エスアイ工業㈱	☎0162−33−6407	第一工業㈱	☎0157−23−4155
札幌ペック㈱	☎011−772−6992	フクタカ工業㈱	☎011−856−4622
㈱サンキット・エーイー	☎011−572−1110	フジ美建工業㈱	☎0143−44−2020
サンコー防水防蝕工業㈱	☎011−863−3881	㈱ヤマトイシハタ	☎0138−43−2663
㈱シオン	☎011−873−4151		

材料メーカー　㈱ダイフレックス 札幌営業所　札幌市北区北9条西3丁目19−1 ノルテプラザビル3階
URL:http://www.dyflex.co.jp　TEL（011）804-8050（代表）　FAX（011）804-8061

ロンシール工業

過酷な気象条件に対応

塩ビ防水のパイオニアとして

ロンシール工業（本社・東京）は、鉄道車両の振動や雪国から南国まで全国各地の過酷な気象条件にも耐えられる塩ビ床材、防水材を生産するメーカーだ。塩ビシート防水のパイオニアとして、現在まで多くの屋根や屋上で製品が採用されている。

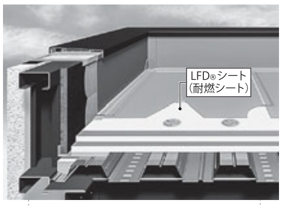
建物の寿命は年々長寿命化しているが、防水工事の保証期間は一般的に10年で定期的な修繕計画と防水改修が必須。塩ビシート防水は工場生産のため均一な防水層の形成が可能であり、下地の状況によって厚みに影響を受けないことから改修工事に向いている。

ビルやマンションの大規模修繕工事に含まれる屋上改修のほか、ショッピングセンターなどのデッキプレート下地や折板下地の改修にも幅広く採用されている。

改修工事では、ディスクでシートを固定して既存防水層にかぶせる機械的固定工法で施工するケースが多いが、接着工法でも対応が可能。特に緩衝層付きシートを採用した「ベストプルーフプラス接着改修工法」は、既存防水層が塩ビシート防水かオレフィンシートであればじかに接着できる。

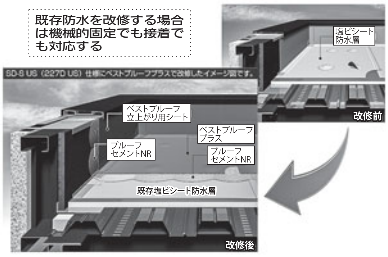
メリットは①既存防水層の撤去を軽減②接着工法で改修するので機械的固定工法で発生する穴を開ける音がほとんどしない③耐火デッキプレート下地の現場でも穴を開けないのでビスによる切粉が発生せず建物室内養生作業が削減可能といった利点がある。ただし、事前に既存防水層の状況確認が必要だ。

また、同社では高断熱工法に対応する多数の工法を用意している。コンクリート下地や金属下地に使用する断熱材が硬質ウレタンフォームであれば、厚み150㍉まで飛び火認定を取得しているので「省エネのきっかけに一度問い合わせを」と呼び掛けている。



高断熱工法（飛び火認定取得仕様）の概念図

既存防水を改修する場合は機械的固定でも接着でも対応する



ダイフレックス

道内工場屋根の改修に

リ・ルーフシステム 高い施工品質

土木・建築を問わずウレタン塗膜防水分野でさまざまな技術革新を進め業界をリードしてきたダイフレックスは、道内に適した工場屋根専用改修工法「リ・ルーフシステム」を提案する。

特殊断熱補強層と超速硬化ウレタン、遮熱トップコートの組み合わせで〝防水&補強硬化〟〝遮熱&断熱効果〟を生み出す。

重要な製造設備や製造ラインを雨漏りや屋根の破損から守りつつ、冷房費の節約を実現。スプレーウレタン・ウレア工業会社内検定（厚生労働省認定）合格の超速硬化ウレタンスプレー施工主任技術者による施工で高い施工品質を約束する。

施工手順

断熱補強層施工

防水層施工

トップコート塗布後完成

工事名：某石狩工場
仕　様：リ・ルーフシステム工法
施　工：フクタカ工業株式会社

仕様

	工程	使用材料	使用量/㎡
	清掃※		
1	断熱補強層	SGフォーム	1.0kg～(10mm～)
2	防水層	エバーコート SP-200	1.5kg
3	トップコート	SQトップ高反射色	0.2kg

※金属屋根の場合はプライマーPW-F塗布0.15kg/㎡

防火認定（法第22条第1項）申請中

・2021・新防水技術紹介

新型コロナ感染拡大防止を

国交省が各建設業団体へ対応通達

国土交通省は、各建設業団体に対し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐ緊急事態宣言下の工事および業務の対応について通達した。感染リスクが高まる「5つの場面」を回避するよう促している。

施工中の現場における感染拡大防止措置については、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、現場でのマスク着用、手洗い、換気など感染予防対応を行うとともに、施工に伴う3つの密発生の回避などガイドラインを策定し、周知徹底を要請。

新型コロナウイルスの罹患（りかん）により現場施工が困難になった場合のほか、受注者から工期延長の申し出があった場合、必要があると認められるときは工期見直しやこれに伴う請負代金の変更、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じた場合に要した費用の上乗せなど柔軟な契約変更も周知している。

感染リスクが高まる5つの場面

1．飲酒を伴う懇親会等
・飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下するとともに、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい
・敷居などで区切られている狭い空間に長時間、大人数が滞在すると感染リスクが高まる
・回し飲みや箸などの共用が感染リスクを高める

2．大人数や長時間に及ぶ飲食
・長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では短時間の食事に比べて感染リスクが高まる
・大人数（5人以上）の飲食では大声になり、飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる

3．マスクなしでの会話
・マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる
・車やバスで移動する際の車中でも注意が必要

4．狭い空間での共同生活
・狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる

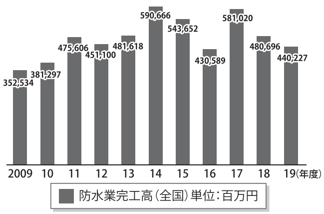
5．居場所の切り替わり
・仕事での休憩時間に入ったときなど、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある
・休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている

建設工事施工統計調査と全防協32号

防水工事完工高8％減

19年度施工統計調査 4402億円

国交省の建設工事施工統計にみる防水工事の完工高



コロナ感染拡大 20年度に影響も

国土交通省が2021年3月に発表した19年度の全国建設工事施工統計調査によると、全国の防水工事業の完成工事高は、前年度比8・4％減の4402億2700万円だった＝グラフ。

前年度比は減少となったが、減少幅は前回の17・3％減から半減している。総額は11年度に4756億円を計上して以来、4000億円台を確保し続けている。新型コロナウイルスの感染拡大による影響が20年度完工高にどう出るかが注目される。

広報誌「全防協」民法解説や調査

全国防水工事業協会は、21年に発行した広報誌「全防協」32号で20年4月に改正した民法の解説をしたほか、正会員向けのアンケート結果を載せている。

請負契約の締結で瑕疵（かし）の用語が契約不適合に変更した点や補修方法における立証責任が注文者から請負人に転換されること、担保責任期間に関する規定の改正などを説明している。

4年ぶりに実施したアンケートは652社に調査票を送付し、282社から回答を得た。回答率は43・3％。質問内容は自社ホームページの開設状況や法定外労災や損害賠償責任保険、生産物賠償責任保険の加入状況などを調査した。

法定外労災は、社員で1・9％、従業員で10・5％それぞれ前回調査より増加。損害賠償責任保険は回答した会社の97・2％が加入し、生産物賠償責任保険は同様に96・2％が加入していると答え高い加入率を示している＝表2。

（表2）　法定外労災（上乗せ労災）の加入状況

社員	2004年度	2008年度	2012年度	2016年度	2020年度
全員が加入	93.5％（301社）	96.3％（206社）	95.8％（226社）	96.9％（277社）	98.8％（243社）
一部が加入	6.5％（21社）	3.7％（8社）	4.2％（10社）	3.1％（9社）	1.2％（3社）
計	100％（322社）	100％（214社）	100％（236社）	100％（286社）	100％（246社）
作業員	2004年度	2008年度	2012年度	2016年度	2020年度
全員が加入	85.3％（256社）	94.4％（202社）	89.8％（212社）	85.0％（243社）	95.5％（235社）
一部が加入	14.7％（44社）	5.6％（12社）	10.2％（24社）	15.0％（43社）	4.5％（11社）
計	100％（300社）	100％（214社）	100％（236社）	100％（286社）	100％（246社）

防水業に携わる皆さんを応援します。

建設産業をニュースで支える新聞社です。

北海道の未来をつくる羅針盤

株式会社 北海道建設新聞社

本社　〒060-0004 札幌市中央区北4条西19丁目1-11
☎（011）611-6311　FAX（011）621-2913

kensin PLUS
新規購読者Webサービス
月額（税込）13,100円
お申し込みはここから➡

優れた技術と確かな施工で
安全安心なまちづくりに貢献します

北海道防水工事業団体連合会

構成団体
北海道アスファルト防水工事業協同組合
北海道シート防水工事業協会
北海道塗膜防水工事業協会
北海道シーリング工事業協同組合

事務局　札幌市中央区北2条東3丁目2-2 マルタビル札幌 4F　電話 011（222）0019　FAX 011（222）0046